

将来の衛星地球観測に関する研究集会  
Meeting on the Future Missions of Satellite Earth Observation

樋口 篤志, 千葉大学・環境リモートセンシング研究センター

本研究集会はTF (※) が主催する地球観測衛星ミッション公募へ応募された提案に関し, 提案者と有識者ができる限り対面で議論を行うことで科学的・社会的・技術的な必要性・実現性を確認し, 政策決定者を説得しうる魅力的な衛星観測ミッション, あるいは衛星データ利用に関する提案として共にブラッシュアップすることを第一の目的とする. 加えて, 研究開発の進め方や体制のあり方に関する議論を深めることを第二の目的とする.

2025年度は提案されたミッションの更なるブラッシュアップを目的として, 9月8日, 同月19日に共にオンラインにてワークショップ形式で研究集会を行った. ワークショップのアジェンダを表1, および表2にそれぞれ示す. ワークショップ前半 (第1部) は, 提案されたミッションを主に計測原理 (a. THz, マイクロ波放射計, b. 光学イメージャ [9/8], c. ライダー, d. レーダ [9/19]) に分けて整理し, ファシリテータ (アジェンダ上では登壇者) をたて, 計測原理に基づくミッションの実現可能性について議論を行った. さらに各日の後半 (第2部) にはパラレルセッションとして, ①THzミッション, 水蒸気・同位体・氷雲・放射収支ミッション, ②偏光観測ミッション (9/8), ①静止気象衛星ミッション, ②レーダ・ライダーミッション (群) (9/19) に対し, モデレータを立て討論することにより技術面でより深い議論を行うことができた. 議論した内容について簡単に取りまとめを行った後, 最後にまとめとして報告することにより, 得られた知見を参加者全員で共有することができた.

参加者は両日合わせて51名であり, 日程調整の困難さから, 集会申請時の対面式での研究集会実施は残念ながら叶わず, どちらもオンライン集会となった.

表2 2025年9月8日のワークショップアジェンダ

時間	議題	登壇者 (敬称略)
開会		
13:00-13:05	開会: 趣旨説明	TF 高度化 WG 高橋
第1部		
13:05-14:00	THz、マイクロ波放射計	九州大学 江口
14:00-14:55	光学イメージャ	JAXA 棚田
14:55-15:05	休憩	
第2部		
15:05-17:00 (2部屋パラレル)	① THz ミッション、水蒸気・同位体・氷雲・放射収支観測ミッション	モデレータ: JAXA 植松 発表者: 九州大学 江口
15:05-17:00 (2部屋パラレル)	② 偏光観測ミッション	モデレータ: JAXA 木村 発表者: リール大学 日置
17:00-17:05	休憩	
17:05-17:15	まとめ① (THz、水蒸気)	JAXA 植松
17:15-17:25	まとめ② (偏光観測)	JAXA 木村
閉会		
17:25-17:30	閉会	TF 高橋

表 2 2025 年 9 月 19 日のワークショップアジェンダ

時間	議題	登壇者 (敬称略)
開会		
13:00-13:05	開会：趣旨説明	TF 高度化 WG 高橋
第 1 部		
13:05-14:00	ライダー	東京都立大 石井
14:00-14:55	レーダ	NICT 金丸
14:55-15:05	休憩	
第 2 部		
15:05-17:00 (2 部屋パラレル)	① 静止気象衛星ミッション	モデレータ：千葉大 本多 発表者：気象庁 勝山
15:05-17:00 (2 部屋パラレル)	② レーダ・ライダーミッション	モデレータ：TF 高橋 発表者：NIES 西澤
17:00-17:05	休憩	
17:05-17:15	まとめ① (静止気象衛星)	千葉大 本多
17:15-17:25	まとめ② (レーダ・ライダー)	TF 高橋
閉会		
17:25-17:30	閉会	TF 高橋

※TF: 25の学会・関連団体からなる「今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会」<https://www.cr.chiba-u.jp/RemoteSensingTaskForce/>